

廃棄物の削減

当社の生産過程で発生する廃棄物は大半が鉱さいと汚泥です。これらの再利用、再資源化率の向上に積極的に取り組んでいます。特に汚泥の廃棄量削減のためにシクナーや汚泥乾燥槽による脱水処理を行っています。



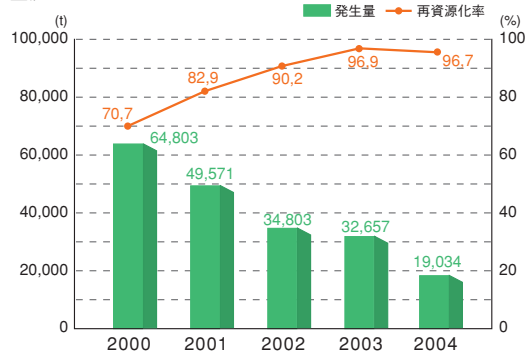
シクナー（凝集沈降槽）

廃棄物対策

廃棄物の再利用や再資源化を通して、廃棄物量の削減を進めています。「ごみ減量優良建築物」標章をいただくなど、外部からも高い評価を受けています。

2005年クリモト、環境への取り組み

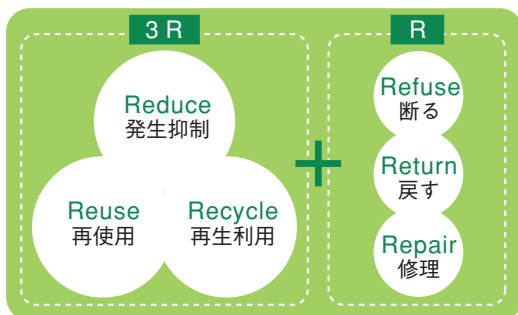
■廃棄物量とリサイクル



3R+R活動

3Rとは「リデュース(発生抑制)」「リユース(使えるものは繰り返し使う)」「リサイクル(再生して資源として利用する)」のことです。当社は全社的にこの3R活動を推進しつつ、さらに「リフューズ(要らない包装などは断る)」「リターン(戻す)」「リペア(修理して長く使う)」の取り組みを行うことで、それぞれに3R+R活動を徹底してきました。1994年の産業廃棄物の再資源化率は34%でしたが、2004年には96.7%にまで向上しました。

■3R+R活動



「ごみ減量優良建築物」標章を取得

本社ビルおよび住吉工場が「ごみ減量優良建築物」標章を獲得しました。「ごみ減量優良建築物」標章とは、大阪市環境事務局が「ごみの減量やリサイクルに積極的な活動した建築物に贈呈している「ごみ減量優良標章」を5年連続して取得した建築物に贈られるものです。



グリーン購入活動（グリーン購入分科会）

当社では栗本環境委員会・グリーン購入分科会が中心となってグリーン購入を進めています。2000年10月に環境負荷の小さな物品を選択的に購入する「グリーン購入ガイドライン」を制定。2003年2月には物品購入に関する具体的な基準を定めて、「栗本鐵工所グリーン購入基準書」にまとめました。2004年5月20日の交野工場を皮切りに、各拠点を回ってグリーン購入活動推進説明会を実施。趣旨の周知と実行の徹底を図っています。

■栗本鐵工所グリーン購入基準書分類表

	中分類	小分類 (製品名)	評価
原材料	キューボラ溶解原料	スクラップ	再生使用
	キューボラ溶解原料	シュレッダー屑	再生使用
	BC系合金鋼	クリプラス	鉛レス
	橋梁鋼材	特殊鋼 (耐候性鋼材)	塗装不要
	鋳造品	フルモールド鋳造品	木型焼却不要
	セメント	エコセメント(高炉セメント)	破棄物利用、減少
	セメント	エコ(フライアッシュ)セメント	破棄物利用、減少
	砂	再生砂	再生使用
	石	再生骨材	再生使用
	副資材	塗料	粉体塗料・粉体塗料(B)
塗料		水性塗料・水性塗料(B)	溶剤不要
重油類		灯油 (対重油)	低硫黄 (省大気汚染)
重油類		A重油 (対C重油)	低硫黄 (省大気汚染)
ガソリン		無鉛ガソリン	省大気汚染
油脂		バイオグリースオイル	生態系によい
切削油		水性切削油	生態系によい (廃水処理可能)
重油類		LNG (対油)・LPG (対油)	省大気汚染
断熱材		ロックウール	省エネ
パッキン		ノンアスベスト	無公害 (健康障害なし)
購入品	ゴム類	天然ゴム	無公害
	軍手	再生軍手	廃プラ原料品、再使用品
	作業服	再生作業服	廃プラ原料品
	磁石	ダイヤモンド磁石	耐久性
	ウエス	再生ウエス	再生品
	セラミック製品	再生セラミック製品	再生品
	木材	間伐材	省資源
	ダンボール	再生ダンボール	再生品
	文具・事務用品	エコマーク品	再生、省エネ品
	コピー紙	再生コピー紙	再生品
外注品	パソコン	省電力型パソコン	省エネ
	公共工事	無公害工事	無公害
	自動車	エコ自動車	低硫黄 (省大気汚染)
	空調設備	省エネ空調機	省エネ
設備関係	照明設備	省エネ照明器	省エネ

クリモトグループ資材調達HP
http://www.kurimoto.co.jp/supply/

認定リサイクル製品

グループ会社の栗本化成工業ではさまざまなFRP製品を開発しています。この度、廃FRPの高配合複合材料の開発に成功しました。製品化したエコFRPレンガ・トレイおよびエコFRPスペースが大府府認定リサイクル製品となりました。また栗本商事でも廃ヘットボトルを使用し、開発したマンホール用蓋エコタイプが和歌山県認定リサイクル製品となりました。



大阪府認定リサイクル製品

水処理設備で環境負荷を低減します

加賀屋工場では、社会インフラである鑄鉄製の水道、ガス管を製造し、人々の豊かで暮らしやすい社会生活の構築に貢献しています。



加賀屋工場 環境管理グループ長 植松 保雄

排水対策 — 加賀屋工場での取り組み

加賀屋工場では、社会インフラである鑄鉄製の水道、ガス管を製造し、人々の豊かで暮らしやすい社会生活の構築に貢献しています。しかし、工場の生産活動には必ず環境負荷というマイナス面がともないます。当工場においても、生産過程で大量の水を使用し汚水が発生しますが、設置している水処理設備で適正に処理しています。この水処理設備を日々適正に維持管理し、排水汚濁負荷の低減、処理水の再利用を行い、環境負荷というマイナス面をできるだけ低く抑えることが、総合的に見た社会貢献であると考えます。これからも、水処理設備を含めた工場内の環境設備、生産設備を監視・管理し、環境負荷を低減し、より社会に貢献する工場を目指していきたいと考えています。

有害物質対策

人体だけでなく生態系にまで悪影響を及ぼす有害物質の徹底した管理や塗料使用の抑制など、有害物質対策に取り組んでいます。

環境リスクマネジメント

当社が排出する化学物質は、その大半を製品に使用する塗料に由来します。その排出量削減のため、粒状活性炭を利用したアメーグ溶剤回収装置を用いたり、塗料を使わない鋼橋箱桁内部無塗装システムの研究開発を行い、使用量の削減を目指しています。

PCB(ポリ塩化ビフェニル)対策

PCBはコンデンサーや安定器などに使われてきましたが、その有害性が認識され法律により徹底した管理が求められています。住吉工場では専用の倉庫に入れた上で、さらに鋼鉄製のボックスの中に入れ、認識番号を付け徹底管理を行っています。



鉄製のケースに入れて保管



ケースごとに管理番号を付けています

■平成16年度 PRTRデータ

政令No	物質名	大気への排出	水域への排出	土壌への排出	排出量の合計	移動量
63	キシレン	79.9	0	0	79.9	14.7
227	トルエン	33.8	0	0	33.8	6.1
40	エチルベンゼン	8.7	0	0	8.7	1.0
	その他	1.6	0	0	1.6	0.4
合計		124.0	0	0	124.0	22.2

単位: t